

InvestHK



2022年10月31日 ~ 11月4日

Hong Kong FinTech Week

境界を超え、チャンスをつかむ

アジアを代表するフィンテック会議に参加し、業界で最も著名な人々とつながり、アジアとその先にある急拡大するビジネスチャンスを掴んでみませんか。

Hong Kong FinTech Week (HKFW) 2022 は、金融財務省とインベスト香港が主催し、香港金融管理局、保険業監督局、証券先物委員会が共催するアジア有数の金融テクノロジー（フィンテック）イベントです。今年も、Hong Kong Convention and Exhibition Centre での対面会議と、世界中の視聴者に向けたエキサイティングなオンラインイベントによるハイブリッド形式で開催します。

参加者は、12,000 人を超えるフィンテック専門家、起業家、投資家、規制当局に加え、350 人以上の世界的に著名なスピーカーと出会うことができます。最先端技術と革新的な進歩がどのように金融サービスの未来を動かすのか探求します。

Global Fast Track 2022

90 以上の企業、投資家、業界屈指のサービスプロバイダーおよび 300 社以上のフィンテック企業が参加する本プログラムでは、1 対 1 のビジネスマッチング、ピッチコンテスト、メンタリングセッションなどが行われます。参加するフィンテック企業は、プログラムを通して得られる様々な知見をヒントにビジネスを拡大し、イノベーションを加速させるためのテラーメイドのサポートが受けられます。ピッチコンテストの決勝とビジネスネットワーキングイベントは、Hong Kong FinTech Week に開催されます。

香港の強固なフィンテック・エコシステム

香港には、国際的なフィンテックハブとして 600 社以上のフィンテック企業が拠点を構えており、フィンテック活用率は引き続き急速に伸びると見込まれます。今後 3 年間に成長を牽引する分野としては、GreenTech (121%)、LegalTech (92%)、WealthTech (39%) が挙げられ、香港の金融機関がイノベーションに対して大きな意欲を持っていることを示しています¹。

¹数値は、今後 3 年間の各サブセクターの成長率予測値。

(出典: Tech Baseline Assessment: Key Observations and Way Forward, Hong Kong Monetary Authority, June 2022)

香港では、資金調達機会が充実しています。Asian Venture Capital Journal (AVCJ)によると、香港は過去12年間のうち7年間、世界一のIPO市場であり、アジア太平洋地域で2番目に大きな民間資本プール（総額1,700億米ドル）を誇っています。公的資金については、香港政府がスタートアップのシリーズAとシリーズBの間のギャップを埋める50億香港ドルの戦略テックファンドを立ち上げ、産業の成長を後押ししています。

政府の積極的な支援を受ける香港は、フィンテックイノベーションの次の波をリードする態勢が整っています。

主要テーマ：

> フィンテック業界のダボス会議

業界の発展を促すハイレベルな知識共有の場を創造

> 未来の経済

世界規模の金融革命をもたらす大局的な変革に関するトピック

> イノベーションとデジタル化

最先端技術の導入とデジタル化、その先にあるものは？

> 広東・香港・マカオ大湾区（大湾区）

香港と（中国本土との）越境コラボレーション拡大における大湾区の重要性と役割を探求

> Web3 とメタバース

金融の世界における可能性とその技術を探る

詳細はこちらをご参照ください：

 fintechweek.hk

  [Hong Kong FinTech Week](#)



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

国際イベント・スケジュール

10月17日～21日 香港

Investment Promotion Week

1週間にわたるハイブリッド形式の同イベントでは、香港政府関係者、金融・専門サービス、イノベーションとテクノロジー産業、ライフスタイル・クリエイティブ産業、広東・香港・マカオ大湾区におけるスタートアップや企業など、各業界の著名なスピーカーがそれぞれのアイディアや知見を共有します。

場所: Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催: InvestHK

- investhk.gov.hk/ja/investment-promotion-week.html

10月20日～11月6日 香港

Digital Art Fair Xperience Hong Kong 2022

アートのトレンドを先駆けるブロックチェーン、バーチャルリアリティ、メタバースなど、インタラクティブなWeb 3によるデジタルアート作品を展示し、その魅力を紹介します。

場所: Asia Standard Tower 1階、2階

主催: Digital Art Fair

- digitalartfair.io

10月31日～11月4日 香港

Hong Kong FinTech Week

7回目の開催となる今回は、1週間にわたり著名なスピーカーを招いたマルチトラック形式の会議、FintechHK Global Final、Global Fast Track プログラム、展示会、商談エリア、ネットワーキングイベント、実演ショー、その他盛り沢山の内容を用意しています。

場所: Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催: InvestHK

- fintechweek.hk

10月10日～11日 香港

Asia Summit on Global Health (ASGH)

本サミットには、ヘルスケア専門家、著名な研究者、影響力のあるビジネスリーダー、業界の第一人者、革新的なスタートアップ、投資家や政策立案者が世界中から参加します。ダイナミックなヘルスケア分野のアイディアを交わし、商機を模索するとともに、協力関係を促進することを目的としています。

場所: Hong Kong Convention and Exhibition Centre

主催: 香港特別行政区政府、香港貿易發展局

- asiasummitglobalhealth.com

11月28日～12月3日 香港

Business of Design Week (BODW)

BODWは、アジアで年に1度開催される、デザイン、イノベーション、ブランドに関する大型イベントです。20周年を迎える今年は、「Design for Change」をテーマにハイブリッド形式で実施されます。

主催: Hong Kong Design Centre

- bodw.com

■ インベスト香港主催行事

最新イベント情報は、investhk.gov.hk をご覧ください。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

特集：

南沙区の新開発計画

2022年6月、中国国務院は「世界に向けた広東・香港・マカオ間の包括的協力深化に関する広州市南沙全体方案」（以下「南沙方案」）を公布しました。

南沙区には、地理的優位性、発展における大きな可能性、そして強固な産業基盤があります。広州、香港とマカオは、協力に非常に意欲的なことから、南沙区にはこれらの地域との包括的な協力関係を推進する上で独自の強みがあります。2012年9月、国務院は「広州南沙新区発展計画」を承認し、南沙区が関係を構築し、香港・マカオとの包括的協力を深めることを求めました。2019年2月、「広東・香港・マカオ大湾区（大湾区）発展計画綱要」は、さらに南沙区の役割として、広東・香港・マカオ間の協力推進、高度な対外開放に向けた香港・マカオとの連携、革新的な発展のための試験区の共同構築、金融サービスの主要プラットフォームの確立と質の高い生活環境の創出を明確に打ち出しました。

南沙方案は、7つの節と26の条項からなり、2025年と2035年の段階的な目標をそれぞれ掲げています。同方案では、イノベーションとテクノロジー（I&T）の仕組みと制度取決め、公共サービスの体制とビジネス環境などの各分野における主な目標を示しています。

5つの主な取組み

1. 南沙区にI&Tの産業協力拠点を建設します。広東、香港とマカオは、科学技術イノベーションの資源に恵まれています。南沙方案は、広東、香港とマカオにおける科学技術イノベーションの協力を促進する強力な施策を数多く打ち出しています。例えば、試験区内の奨励産業に関わる企業に対する法人税は15%に減税され、南沙区で働く香港・マカオ居民に対しては、香港・マカオの税負担を超える部分の個人所得税が免除されます。こうした措置により、南沙におけるハイテク企業や人材の集積が大きく進むことが期待されます。
2. 南沙区に、スタートアップと青年のための協力プラットフォームが設立されます。本方案では、青年のイノベーションと起業を促進する協調的な対策が必要だとして、インターンシップや雇用の支援改善、青年の交流を深める取組みを求めています。南沙方案は、香港・マカオの適格居民を起業助成金の対象とし、雇用支援サービスの保証内容を強化するとともに、住居、通勤、子どもの幼稚園や学校への入園・入学に関して好条件を整えることで、香港とマカオの青年が区内で起業するホットスポットの確立を推進しています。
3. 南沙区を高度な対外開放の玄関口とする取組みが共同で行われます。本方案では、グローバル化を目指す中国企業のための総合サービス拠点を南沙区に構築すると定めています。また、南沙区の国際海運・物流ハブとしての役割を強化し、グローバルな経済協力を進め、南沙区を国際コミュニケーションの新たなプラットフォームとする方策も講じられる予定です。南沙区は、国内外の流通が交わる重要地点で、これら2つの市場を結び、両方の資源を活用できるという独自の利点があります。南沙方案は、同区が国際経済協力などの強化に重要な役割を果たすことを提案しています。同方案によると、南沙区は、香港の専門



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

サービス業が本土でのサービス提供に参入しやすくする方法を検討し、広州、特に南沙区の産業・市場基盤を支えに、香港・マカオと連携し、国際経済貿易協力を絶えず深め、対外開放の新天地を開拓することが期待されています。

4. 南沙区では、ルールや規制をまとめる仕組みが確立されます。本方案では、金融市場の繋がりを秩序立てて拡充し、公共サービスと社会管理の連携を改善することで、世界クラスのビジネス環境を構築するとしています。ルールや仕組みを集約することは、大湾区を発展させる上で重要なポイントであり、難しさの1つにもなっています。ルールが一体化されれば、各要素の流れがスムーズになります。南沙方案では、香港・マカオの金融市場、公共サービス、社会管理との繋がりを改善するという観点から、ルールや仕組みが「ゆるやかに結びつく」ことを南沙区が積極的に模索・推進していくとしています。また、南沙区の越境自動車保険、越境商業医療保険などのパイロット事業を明確に支持し、大湾区のルールのさらなる一本化を目指しています。

5. 南沙区は、質の高い都市開発のモデルとしても構築されます。南沙方案で強調されているのは、都市計画・開発における協力の拡大、スマートシティの着実な推進、広東・香港・マカオ間の人材育成のさらなる連携、香港・マカオ居民向けの医療や高齢者ケアの整備、生態保護・処理の協力の強化です。同区を発展を加速させることは、古都広州が新たな活力を得て、総合都市としての機能や文化的な強み、現代サービス業、現代国際ビジネス環境の面で優れた成果を生み出す上で重要な取り組みです。南沙方案は、南沙区が都市計画・建設、スマートシティ管理、環境保護の各分野で香港・マカオと協力を深め、都市統治制度と統治能力の現代化を促進し、生活、仕事、観光に適した質の高い生活圏を作ることを明確に打ち出しています。

本方案は、南沙区の海運、貿易、金融、国際通信分野の都市サービスを向上させ、香港・マカオと連携し、高度な対外開放の玄関口となって、南沙区が新たな発展の模範を確立し推進する大きな役割を果たすことを支援します。また、広東・香港・マカオの包括的な協力にとって重要な戦略的プラットフォームを生み出し、「一国二制度」の実践を充実させ、香港・マカオが国全体の発展に参画することを後押しするものです。

連絡先：

デイビッド・ウォン (David Wong)

大湾区ビジネス開発部 部長

☎ (852) 3107 1494

✉ davidwong@investhk.gov.hk



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

統合型コマース・サービス企業 AnyMind Group

香港と大湾区でのビジネス拡大を加速

AnyMind Group は、多彩なテクノロジーソリューションで企業や専門家をパワーアップし、誰もがビジネスに熱狂する世界を目指しています。



AnyMind Group は、中華圏内への拠点の広がりや収益の拡大を図るため、2018年に Acqua Media を子会社化しました。現在、同社の香港事務所は、国際的な広告代理店との強力なパートナーシップを構築し、広告代理店を通じ、消費財や小売業以外にも、教育、電気通信、金融、eコマース業界など、顧客の幅を広げています。

AnyMind Group の中華圏のマネージングディレクター Ben Chien 氏は次のように述べました。「香港事務所は、台北、深圳と東京の AnyMind Group のプレゼンスをしっかりと補完しています。私たちの顧客の多くは、香港に地域本部があります。現地にチームがいることで、私たちも顧客により良いサポートができます。2017年5月に香港事務所を開設して以来、業績は好調で、事業を継続的に拡大してきました」

越境 e コマースへの挑戦

現在、中国は世界最大の越境 e コマースの中心地となり、無限の商機が広がっています。この商機を掴むため、最近 AnyMind Group は新たな e コマース運営プラットフォーム、AnyX を立ち上げました。中国（そして世界中）の e コマース事業者が手作業や無駄な作業を減らしながら、リーチできる越境消費者を増やし、販売実績や消費者データを一元的に把握できるようになります。「香港は、国際企業が中華圏に参入する際にユニークな

ゲートウェイとなってきました。私たちの香港での経験と多文化を理解する香港の人材が、当社の越境 e コマースサービスの成長を大きく後押ししてきました。中国内外のブランドのビジネス拡大に貢献できるだけの、十分なリソースを与えてきたのです」と Chien 氏は語りました。

香港から大湾区へ、更なる商機を求めて

今後、AnyMind Group は中国本土での事業をさらに拡大し、広東・香港・マカオ大湾区（大湾区）の中核都市の1つである深圳に進出する予定です。特に海外ユーザーをターゲットとした中国のゲームアプリやユーティリティアプリ開発企業の長期的なポテンシャルには、健全な成長余地があると考えています。深圳は、そうした企業をターゲットにする場所として最適です。Chien 氏は「香港と深圳はそれぞれ異なる競争上の優位性があるため、大湾区で事業展開したい海外のテクノロジー企業にとって理想的な拠点です。2つの地域は距離的にも近いので、香港と深圳の両チームは密接に連携し、コミュニケーションをとりながら中国と欧米の顧客双方に包括的なサポートを提供することができます」と述べました。AnyMind Group はビジネスが軌道に乗った時点で、さらに別の地域のポテンシャルを模索していきます。それまでの間、香港事務所は、グループの長期的な成長を最大限引き出す中華圏チームに加わってくれる人材を、引き続き採用していく予定です。

この6年間で、2人の日本人がシンガポールで共同創設したスタートアップは、アジア太平洋地域の13の市場に展開し、全世界で17拠点、従業員1,000名を抱える組織へと急成長しました。そして2019年には、本社を日本に移転しています。

AnyMind Group は、2016年にマーケティングテクノロジー企業としてスタートし、ビジネスサプライチェーンにより多面的に対応しようと、ここ数年でサービスを拡大してきました。2020年には統合型コマース・サービス企業へと進化をはじめ、現在はブランドや企業、パブリッシャーやインフルエンサーを対象に、2つの幅広いサービス Brand Commerce と Partner Growth を提供しています。Brand Commerce は、生産、e コマース、マーケティング、物流のためのプラットフォームを企業に提供し、Partner Growth は、ウェブ・モバイルアプリのパブリッシャー、インフルエンサー、コンテンツクリエーターにマネタイズと最適化のプラットフォームを提供しています。

“ 香港と深圳はそれぞれ異なる競争上の優位性があるため、大湾区で事業展開したい海外のテクノロジー企業にとって理想的な拠点です。2つの地域は距離的にも近いので、香港と深圳の両チームは密接に連携し、コミュニケーションをとりながら中国と欧米の顧客双方に包括的なサポートを提供することができます ”

AnyMind Group
中華圏のマネージングディレクター
Ben Chien 氏

AnyMind Group

- シンガポールで創業し、本社を日本に置く。東南アジア、東アジア、インドと中東に17拠点を構える
- 企業や個人がさらに高い成長を遂げ、次世代コマースを主導できるように、幅広いサービスを提供する9つのプラットフォームを開発

 anymindgroup.com